

知床世界自然遺産地域における平成20年度実施ソフト事業について

資料2-3

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(今後の予定など)
1	環境省	知床世界自然遺産地域の有する世界的に顕著な普遍的価値(OUV)に関する環境教育プログラムの検討	地域在住及び知床を訪れる生徒児童が、知床が有する世界的に顕著な普遍的価値(OUV: Outstanding Universal Value)について分かりやすく認識することができるような資料を作成する。	地域の小中学校に配布するとともに、世界遺産センター等において活用していく。
2	環境省	羅臼ビジターセンター関連パンフレット等の作成と配布。	羅臼ビジターセンターの館内概要パンフレットを道東の関連施設や札幌駅構内の観光案内所にも配布している。また館内展示の英訳解説ブックも作成しており、本年度中に配布を開始する予定。	平成21年度は中国語版、韓国語版について検討。
3	環境省	地元住民向け自然講座の開催	平成19年度から、羅臼ビジターセンターを拠点として、地域住民を対象とする「知床らうす自然講座」を開催し、野生生物の保護管理や自然環境保全に係る地域住民の意識の高揚を促進。今年度は、羅臼ビジターセンターでの講座を計7回予定し、実施中。	羅臼VCでのイベントとして地域に定着しつつあり、来年度も継続して行う。
4	環境省	羅臼自然保護官事務所主催の自然観察会の実施	平成20年度より羅臼自然保護官事務所主催の自然観察会を実施。羅臼ビジターセンターを中心とする羅臼温泉周辺で国立公園の魅力や法制度概要、世界自然遺産地域の価値などを自然散策を行いながら広く普及・理解頂くことを目的として、一般公募により開催。	国立公園や自然遺産地域の魅力・価値を環境省として、直接伝える場として有意義な機会となることから来年度も継続して行う。
5	環境省	羅臼ビジターセンター活動推進業務における四季のイベント開催	平成20年度より羅臼ビジターセンター活動推進業務の一環として、四季毎のイベントを実施している。イベントは自然に関するテーマ以外にも歴史や文化に触れたものも行っており、地域住民を中心とする参加のもと行われている。	羅臼VCでのイベントとして地域に定着しつつあり、来年度も継続して行う。
6	環境省	羅臼ビジターセンターウェブサイトの運用	平成19年度11月より新たに羅臼ビジターセンターのホームページを公開した。知床国立公園の主に羅臼側の自然や歩道・道路・野営場といった利用施設について、最新の情報を全国へ発信している。今後も内容の充実を図り、世界自然遺産や利用適正化にかかる情報提供を行う予定。 http://rausu-vc.jp/	平成21年度も引き続き内容の充実を図りながら、情報更新を行っていく。
7	環境省	知床データセンターの整備	平成17年度から運用開始している知床データセンターについて、データの整理、機能の見直し、他のHPとの関係などを含めた知床データセンターの方向性について昨年度行われた検討結果を踏まえ、HPのバージョンアップを行う。	今年度完成予定

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(今後の予定など)
8	環境省	知床世界自然遺産地域科学委員会地元報告会	地元住民に科学委員会の議論が正確に伝わっていない、科学委員の顔が見えないことが問題といった指摘を受け、科学委員会での議論内容や知床での調査について、科学委員から地元住民への報告会を斜里町、羅臼町で開催し、それぞれ約80名、約70名の住民が参加し、本報告会の今後の継続、拡充を求める声や科学委員会への要望などがあった。	来年度も継続予定
9	環境省	知床世界自然遺産生態系調査報告会の開催	平成21年2月4日に札幌において知床世界自然遺産地域に関わる様々な調査研究の報告会を実施予定。	来年度まで継続予定
10	環境省	知床半島中央部地区利用の心得の策定	利用適正化検討会議での議論を踏まえ、2008年10月に知床半島中央部地区利用の心得を策定した。	今後、関係機関配布用の冊子、普及啓発用のポスター等の作成を行い、普及啓発を図るとともに、世界遺産センターの管内展示でも紹介する。
11	環境省	知床国立公園マイカー規制に係る利用者動態予測の実施	幌別地区から知床五湖までの自動車利用の適正化のあり方を検討するため、利用実態の分析や交通シミュレーション等を実施	H20年度～
12	林野庁	「知床自然の森林づくり」協働モデル事業(ビジョンの実践)	2008年3月に策定した「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」の実践にむけた具体的方策検討のため、「知床永久の森林づくり協議会」を開催するとともに、知床の森を守り育てるエコロジカル体験ツアーを実施。併せて「知床永久の森林づくり協議会」の活動について、広くPRするとともに知床における国民参加の森林づくり活動の推進のため、同協議会のホームページを作成。	継続して協議会を開催し、「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」の実践に向けた取組を実施する。
13	林野庁	各種イベントの開催	国民参加の森林づくりを推進するため、森林散策や森林の恵みを活用したクラフト体験などの様々な体験活動を一般公募により開催した。 平成20年度は年間11回の開催を予定。	平成21年度も同様に開催する予定。
14	林野庁	羅臼湖ツアーの開催	羅臼湖周辺の希少植物・樹木の観察、知床連山等の景色を楽しみながら、世界自然遺産地域を含めた森林環境保全の大切さを学ぶため、羅臼湖遊歩道散策ツアーを一般公募により開催。	平成21年度も同様に開催する予定。
15	北海道	しれとこ教室の開催	札幌周辺の小学校8校で、知床の素晴らしさや保全の大切さを伝える出前授業を実施した。	未定(要望があれば検討)

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(今後の予定など)
16	北海道	Web版しれとこ教室の運営管理	上記「しれとこ教室」のストーリーをベースに、ホームページにWeb版をH20.3月に作成し、運営管理を行った。	継続
17	北海道	エコツアーガイドスキルアップ研修の実施	エコツアーの中核的な担い手となるガイドの質の向上を目指し、網走、釧路、根室管内で研修を実施した。	来年度も網走、釧路、根室管内で実施予定
18	北海道	エコツアー地域資源のWeb情報発信	平成18年度に調査したエコツアー地域資源178箇所を広く情報発信するため、ホームページにWeb版を作成し、管理運営を行った。	継続
19	北海道 開発局	知床横断道路「今日の知床峠」、 「通行規制情報」のHP掲載	釧路、網走開発建設部HPにおいて、知床横断道路の通行規制情報を掲載している。	継続
20	斜里町	しれとこ100平方メートル運動地における森林再生事業	運動によって取得した開拓跡地を開拓以前の森林環境に復元する。	継続(H9～)
21	斜里町	しれとこ100平方メートル運動地公開試行事業	しれとこ100平方メートル運動地の適正な公開のあり方を検討をすすめるため、試行プログラム等を実施。	継続(H17～)
22	斜里町	第29回知床自然教室	しれとこ100平方メートル運動参加者と町内の小中高校生を対象にした野外体験事業。7月30日～8月5日実施。	継続(昭和55～)
23	斜里町	第12回しれとこ森の集い	しれとこ100平方メートル運動参加者と町民を対象にした事業。森づくりの現場見学と記念植樹を実施。10月19日実施。	継続(H9～)
24	斜里町	第12回森づくりワークキャンプ	しれとこ100平方メートル運動地における森林再生作業をスタッフとともに行う。10月30日～11月4日実施。	継続(H9～)
25	斜里町	世界遺産知床体験学習事業	斜里中学校1年生を対象に、知床半島斜里側で船による自然観察会および事前学習。6月下旬から7月上旬にかけて実施。	継続(H19～)
26	斜里町	流水の海の動物観察会(知床博物館)	小学4年生から高校生を対象に、知床半島羅臼側で船による流水の海の動物観察会をおこなう。羅臼町教委と共催	継続(H12～)
27	斜里町 環境省	知床国立公園クリーン事業(知床岬)	知床岬など遺産地域内において海岸清掃実施(20年度は6月30日、知床岬地区で清掃活動を実施)。	継続(H15～)

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(今後の予定など)
28	斜里町 羅臼町 北海道 環境省	羅臼岳携帯トイレ利用促進事業	関係機関の連携・協力のもと、登山者の携帯トイレ利用促進の取組を進める。 登山口等に携帯トイレ回収ボックスを設置し(7~10月)、回収・処理を行った(斜里町・羅臼町)。 携帯トイレの普及啓発のため、ポスター及びリーフレットを作成(北海道)するとともに、アンケート調査・現地調査等により利用者意識や現況の把握を行った(環境省)。	H20~
29	羅臼町	知床岬クリーンボランティア	羅臼町と町内のNPO法人との共催により、知床岬での海岸清掃実施。 天候が悪く1回のみ開催。14名の参加で103kgを回収。	継続
30	羅臼町	第26回ふるさと少年探検隊	7/28~8/2の間、町内小学生から中学生を対象に相泊から海岸線を踏破する野外体験事業を羅臼町教育委員会と子ども会育成協議会の共催で実施し20名が参加した。	継続
31	羅臼町	ふるさと体験教室	地元の自然を楽しみながら学ぶことを目的に羅臼町教育委員会主催。12月現在で9回実施し延べ66人の地元小学生が参加。	継続
32	羅臼町	オジロ・オオワシ観察会	羅臼町教育委員会主催事業。海上よりオジロワシ・オオワシ、アザラシ等を観察。天然記念物や生態系に対する理解を深める。	3月上旬実施予定 継続
33	羅臼町	羅臼地区中高一貫教育	中学から高校の6年間を連携してきめ細かな授業を目指す。カリキュラムの中には、知床の自然環境や水産業、観光などを通じたの人間との関わりについての課程を設け、世界遺産登録地域に住む住民としての誇りをもてる人材の育成を図る。	継続中
34	知床雪 壁ウ オーク 実行委 員会	知床雪壁ウオーク	知床横断道路では春が近づくとゴールデンウィーク前の開通をめざし、北海道開発局による除雪作業が始まる。この一部を前年同様に開放し、雪に覆われた羅臼岳を望みながらウォーキングを楽しむとともに除雪作業を見学。自然保護と道路維持の大切さを知ることを目的に実施。 4/19に開催し、124名が参加した。	継続 平成21年4月18日開催予定 知床雪壁ウオーク実行委員会(斜里町、羅臼町、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、読売新聞北海道支社)
35	知床紅 葉ウ オーク 実行委 員会	知床紅葉ウオーク	知床横断道路を歩きながら、大自然が織り成す紅葉の素晴らしさを味わうとともに、貴重な自然の保全意識の高揚を図ることを目的に実施。 10/4に開催し、128名が参加した。	継続 平成21年10月3日開催予定 知床紅葉ウオーク実行委員会(斜里町、羅臼町、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、読売新聞北海道支社)